

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 三重県名張市立名張小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒518-0718

三重県名張市丸之内 55 番地

E-mail g01_e-nabari@nabari-mie.ed.jp

Website

幼児児童生徒数 男子 161 名 女子 193 名 合計 354 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、持続可能な社会を構築する担い手をはぐくむために、①人格の発達や、自立心、判断力、責任感などの人間性をはぐくむこと。②他人、社会、自然環境との関連性を認識し、関わり、つながりを尊重できる個人をはぐくむこと。をねらいとして、協力・関連・伝達・参加・未来・多面・批判の能力・態度の育成に取り組んでいる。

今年度 4 年生において、環境教育、防災教育を柱に、①命とくらしを支える水に係わる活動、②ごみのしまつと活用に係わる活動、③防災に係わる教育を行った。

① 命とくらしを支える水に係わる活動

- ・命とくらしを支える水がどのように作られているか学習をすすめるため、実際に名張市富貴ヶ丘浄水場へ見学に行った。そこで、沈殿やろ過の働きを実験で確認したり、水をきれいにする浄水場でのしくみを学んだりした。また、浄水場で働く方の思いも聞かせていただいた。見学後、これまで学んできたことを新聞にまとめ、さらには水を大切にするためには自分たちでできるこ

とを学級で話し合い、実践した。

②ごみのしまつと活用に係わる活動

- ・ごみのしまつと活用について、清掃工場に運ばれたごみはどうなるのかの学習をすすめるため、名張市環境対策室の方に来校していただきお話を聞いた。そこで、名張市のごみの実情やごみ処理の仕組みについて学んだ。また、ごみを減量するために自分たちでできること学級で話し合い、実践した。同日、剪定枝粉碎処理車（チップー車「ストッピー号」）にも来てもらい、子どもたちの前でチップ化を実演してもらった。出来上がったチップは雑草の抑制材、遊歩道のクッション材、土壌改良材などとして活用できるほか、さらに細かくすることで堆肥になることを学んだ。
- ・ごみのしまつと活用について学習したことを4年生の学年発表として全校集会で発表した。そこで、ごみの分別の仕方で気をつけてほしいことや資源を大切にしていけることについて呼びかけた。

③防災に係わる教育

- ・名張消防署を見学し、安全を守るための仕組みや工夫、防災について学んだ。実際に東日本大震災に行かれ救助活動に参加された消防隊員の方からのお話も聞かせていただいた。そこで、大震災の被害の様子を知るとともに普段から地震に備えることの大切さについても理解することができた。その後、消防署見学を通して学んだことをそれぞれがノートにまとめ、学級で交流した。
- ・全校で地震による避難訓練を行った。避難訓練後、地域の方より名張小学校は避難所になっていることや物資を貯蔵していることを教えていただいた。

これらの学習で学んだことは、授業参加や児童集会のときに保護者や他学年の児童に発表した。また集会の様子や発表内容を学校だより等で紹介し、地域の方々にも取り組みの様子を知ってもらった。

①



②



③



集会時の発表の様子



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

教科書 地域教材「わたしたちの名張市」

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の時間を中心に他の教科で協力・伝達・参加・未来等の能力や態度をはぐくんでいる。 国際理解・環境・多文化共生・人権・防災・外国語活動を重点指導領域に位置づけ取り組んでいる。
--

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項1-4に対応

教育計画にESDのねらい・各学年での指導内容・評価を明記し、職員が常にESDを意識できるようにしている。
校長・教頭・ESD担当・各学年代表からなる推進委員会を設置し、取り組みや進捗状況について交流している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項1-5に対応

年に一度、児童・保護者を対象に学校評価を実施(質問事項は学校や家庭での生活を中心に15問程度)。調査結果は通信等で保護者に知らせるとともに、学校評議委員会等で公表し、意見をもらっている。他者と協力するところは見られるもの、あいさつやコミュニケーション力に課題があることが明らかになった。

- ⑤ ESDの推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項2-2に対応

集会時に発表したことにより、他学年の児童には、環境を守る大切さや自分たちの安全で快適な暮らしがさまざまな人により守られていることに気づくことができたことと思う。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

今年度は取り組むことができなかったが、来年度以降、検討していきたいと思う。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

今年度は取り組むことができなかったが、ほかの学校の取り組みにも学びながら、検討していきたいと思う。

⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

現時点では、特筆すべき内容は特にありません。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

4年生においては、今年度同様、社会や総合的な学習と連動して、環境や地域社会とのつながりに重点を置いた学習に取り組む。

3年生においては、自分たちが住んでいる地域のひと、もの、こととの出会いを通して、ふるさと「名張」に関心を持ち、調べることにより、「名張」の特色やよさに気づく学習に取り組む。

学んだことを、他学年や保護者、地域の方々にわかりやすく伝えられる。